

「たてわり」を振り返って

今年度のたてわり遊び

二つの班が一つの教室でそれぞれ活動するため、教室を二つに分けることもあります。



異年齢集団での人と人のかかわり合いの中から、思いやりの心や高学年のリーダー性を育てたいという願いから、「たてわり」が始まって今年で4年が経ちました。

遊びやお弁当集会、たてわり給食、たてわり造形活動に加え、今年の運動会から新しくたてわり競技が加わりました。異学年が交流する機会を今年もたくさんもつことができました。

また今年には班の数を増やし、より多くの児童がリーダーとして班の中心となり、全体に指示を出して下の学年を積極的にまとめることができました。

このような6年生の姿を見てきた5年生も、来年度、新たなリーダーとして活躍してくれると期待しています。

特別活動部 たてわり担当 中野 加藤



たてわり給食 6/29

6年生を中心として、学年それぞれで仕事を分担して給食を準備しました。

みんなつながれ！たてわりリング 3/10/2
運動会のたてわり競技では、班それぞれが協力してフラフープを通し、みんなで言葉完成了せました。



たてわりお弁当集会 10/27
立野公園に行って、みんなでお弁当をいただいたあと班遊びをします。もう、すっかり活動に慣れてきました。



みんなはどんな旗にしたのかな。

たてわり造形活動 1/14



旗をみんなにつなげたらどんな作品になるかな。



ガーランド! のできあがり



教室がとても華やかになりました。班によって作品のテーマが違います。

心を育てる

～立野の生活指導～

学習用具のきまりを見直そう

- ・持ち物には、学年・組・名前を書く。上ばきには前面とかかどに書く。
- ・学習に必要な物は持ってこない。
- ・赤鉛筆を使う。必要場合は青鉛筆を持ってきてよい。
- ・文房具などは、シンプルなデザインのものにする。
- ・シャープペンシルの使用は、校外学習の時に学年で指定した時のみ使用できるものとする。

学校のきまりの中から、持ち物のきまりにかかわる部分を抜粋しました。

上ばきは、2カ所に記名することになっています。4月に1度全クラスで確認をしていますが、新しい上履きに替えたいか、最近では記名忘れが目立っています。

文房具は、かわいいものやカッコいいものに目が奪われがちです。学習に集中するためには、他に気が散らないようシンプルな文房具が適しています。

今一度、お子さんと一緒に持ち物の確認をお願いします。